

第12回

石州和紙 うちわ アート 展

うちわに描く、自分の世界。

2025 **7.15**(火) - **8.31**(日)

観覧無料 最終日は15:00まで

お問い合わせ・会場

浜田市石州和紙会館

〒699-3225 高松県浜田市三崎町古市場589 9:00-17:00 (月曜休館 / 祝日の場合閉館。要平日休館)

tel/fax 0855-32-4170

washieekishu@iwamizai.jp

<https://www.sakishu-washikaikan.com>



homepage



facebook



instagram

昨年の展示の様子



和紙会館の空間を埋め尽くすように並んだ、個性豊かな約 600 本の作品たち。子どもから大人まで、自由な発想が形となり、作品同士が響き合いながら、訪れる人々の心に鮮やかな印象を刻みました。



個性あふれる表現が賑わす。アートの奥深さが静かに広がっていました。一つひとつの作品が湧き出す多様な世界観が、見るたびに新たな視点と出会わせてくれるような、心を解き放つ特別な展示となりました。

出品作品募集

募集期間 5.1(木) - 6.29(日)

YOUR
DESIGN
HERE

あなたの
デザイン

和紙
会館
で販売

ALL
YOUR
DESIGN
HERE

皆様からの個性あふれる作品のご出品を心よりお待ちしております。個人の方はもちろん、団体でのご参加も歓迎いたします。和紙会館にて「うちわキット」をご購入いただき、自由にデザインした作品を募集期間中に郵送または直接ご持参ください。なお、展示は片面のみとなりますのでご了承ください。出展用キットは通常価格よりお求めやすい特別価格です。皆様からの自由な発想と表現が、展示空間に新たな魅力を加えてくれることを楽しみにしています。ぜひご応募ください。

うちわキット販売



うちわ用の
和紙和紙会館

プラスチック製の
うちわの骨

通常価格：300円

お一人様 200円

特別価格 5/29(木)まで

キットは和紙会館にて販売しております。別途も承ります。(送料はご購入者様負担となります。)

時代とともに進化する うちわの魅力

うちわは古墳時代(3世紀中頃)に中国から伝わり、網戸厄災を払う道具として使われ始め、平安時代には貴族が扇を贈る道具となり、戦国時代には軍配扇が軍の指揮用として活躍。江戸時代には庶民にも広がり、浮世絵などの絵柄が楽しめる生活道具へ。明治以降は海外輸出や広告媒体としても利用され、用途が多様化しました。

和紙会館でうちわづくり

日時 7.1(木) - 8.31(日) 9:00-16:00

(和紙会館 / 和紙会館の隣、和紙会館の隣)

画材をそろえて、皆さまのお越しをお待ちしています。開館日の 9:00-16:00 でご参加いただけます。夏休みの工作にもぜひご活用ください。

※団体(10名以上)の場合は要予約 / 0855-32-4700

